

証券コード: 3747

2014年10月1日 ~ 2015年9月30日



株式会社インタートレード
Business Report 2015

報告書

OCTOBER 1 2014 $\longrightarrow$ SEPTEMBER 30 2015

Top Message



代表取締役社長

尾崎 孝博

株主の皆様には日頃より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

証券ディーリングシステムを中心とした「金融ソリューション事業」で成長してきた当社グループが、事業基盤の拡大を目指して「ビジネスソリューション事業」及び「ヘルスケア事業」を新規事業として2012年にスタートしてから4年目になります。

2015年9月期においては大幅な赤字決算となりました。ご期待に沿えない業績となり、株主の皆様には心よりお詫び申し上げます。

主力の金融ソリューション事業は高い利益を出しているものの、証券業界の質的な変化への対応が十分ではなく、減収減益となりました。ビジネスソリューション事業は新規サービスがセグメント業績に大きく貢献し、初のセグメント利益黒字を達成しました。ヘルスケア事業は資産の評価減を実施したことから大幅な赤字となりました。

日本の政治経済の中心であり当社の本店所在地でもある東京都は、「東京都長期ビジョン」の都市戦略の一つ「世界をリードするグローバル都市の実現」の中で、「国際金融センター構想の推進」「国際的ビジネス拠点の整備」「ライフサイエンスビジネス拠点の形成」の3つを謳っています。これはまさに当社グループの3つの事業セグメントに該当するものであり、当社グループは事業に邁進することで、東京及び日本の発展に貢献できるものと確信しています。

今後についてですが、金融ソリューション事業においては2015年10月に稼働した新ディーリングシステムの展開、ビジネスソリューション事業においてはビジネスそのものを支援する新サービスの拡大、ヘルスケア事業においては産学官共同研究の結果の解明及び商品化と、それぞれ成長へのカギが明確になっています。業績回復に向けて、役職員一同全力で取り組んでまいります。

株主の皆様におかれましては、より一層のご支援をお願い申し上げます。

2015年12月

事業セグメントの概況

金融ソリューション事業

当社グループの主力事業である金融ソリューション事業は安定して利益を計上しているものの、2015年9月期は売上高1,999百万円(前期比94.4%)、セグメント利益509百万円(同96.5%)となり、減収減益に終わりました。

2015年9月期は、先進的な取引と高い保守効率を実現する次世代プラットフォーム『TIGER Trading Platform Prospect』の開発を進め、期をまたいだ2015年10月にファーストユーザーにて稼働しました。

当社の主力製品であるディーリングシステムでは5年ぶりとなる新システムであり、これを機に金融ソリューション事業は再成長を目指します。

ビジネスソリューション事業

2012年9月期からスタートしたビジネスソリューション(旧ITソリューション)事業は、2015年9月期において売上高275百万円(前期比167.0%)、セグメント利益10百万円(前期は95百万円のセグメント損失)となり、4期目にして黒字転換を果たしました。

従前からのSES(System Engineering Service)やPC運用管理サービス(『GadicsMAN@IT』)等において地道に取引を増やして収益基盤を固めていましたが、2015年9月期においては新規サービスのSupport Centerサービスにて大手顧客を獲得し、業績が大きく好転しました。

今後、金融ソリューション事業に次ぐ収益の柱になるべく収益基盤をさらに拡げる方針です。

ヘルスケア事業

ビジネスソリューション事業と同じく2012年9月期からスタートしました。2015年9月期は売上高184百万円(前期比102.4%)、セグメント損失354百万円(前期は231百万円のセグメント損失)となり、期待に沿えない結果となりました。

「産業技術総合研究所」「東京女子医科大学」との産学官共同研究等の先行投資を実施していることに加え、2015年9月期においては棚卸資産の評価減を実施したことが大幅なセグメント損失計上につながりました。

数年後の業績拡大に向けて研究開発は引き続き継続しますが、今回の評価減を契機に見込み生産の精度の向上を図り、より効率的な事業運営へと改善してまいります。

3事業の トップが 語る!

インタートレードは、
3つの主要な事業を展開しています。
今回の株主通信では、
3名の事業本部長から今後の
成長戦略をご説明いたします。

金融ソリューション

金融ソリューション事業は当社グループのルーツであり、主力事業です。

TPPを目前に急変しつつある金融市場において、トレーディングの戦略的基本ツールとして、『TIGER Trading Platform Prospect』の開発に注力してまいりましたが、この10月にファーストユーザー様にて本稼働を迎えることができました。次の目標である国内外の大手金融機関様向け戦略ツールである『SPIDER』の開発も順調です。『SPIDER』は国際的にも十分に戦える最新の学習型最良執行機能を搭載する予定で、その一部機能である取引所シミュレーションシステム『MEXⅢ/MSRⅢ』は、独立したサービスとして多くの外資系証券様にすでにご利用いただいております。また、大手FX業者複数社様にて安定的にご利用いただいておりますFXシステム等でも次世代に必要な機能を準備しており、当社が大きな変革期にある日本の金融市場においてプレゼンスを高める準備も最終段階にあります。私たちは高性能システムを自製できる開発力を強みに、今後は外資系企業様への提案も強化し、新しい時代においても金融市場に選ばれるファインステクノロジー企業であり続けます。



金融ソリューション
事業本部長

宮川 豪

ビジネスソリューション

ビジネスソリューション事業は2012年に新規事業としてスタートし、現在4年目を迎えています。

事業開始当初から一貫していることはお客様の経営を「業務」と「システム」の両面から支援することです。

この方針のもと3年間事業を行ってまいりましたが、2014年9月期まではセグメント損失となり、新規事業起ち上げの難しさを味わいました。この間、SESとPC運用管理サービス(『GadicsMAN@IT』)を中心に据えつつSI(System Integration)案件にも取り組み売上高を確保する中で、並行してパッケージシステムの開発を進めました。

そして当期、お客様の「ビジネス」そのものを支援するSupport Centerを事業化し、黒字転換を実現しました。

2016年9月期より、開発を進めてきたパッケージシステムである経営統合管理プラットフォーム『GroupMAN@ITe²』の提供を開始します。また当期はマイナンバー元年にあたり、マイナンバーガイドラインにある技術的安全管理措置対策として『GadicsMAN@IT』の展開を拡大します。

そして、私たちビジネスソリューション事業は従来進めてきた各事業をさらに発展させ、お客様の経営インフラである「業務」「システム」「ビジネス」を有機的に支援する“Business Support Integrator”を目指します。



ビジネスソリューション
事業本部長

阿久津 智巳

ヘルスケア

ヘルスケア事業は4年目を迎えています。現時点では皆様の期待に添う業績ではなく、早期の挽回を目指しています。

ヘルスケア事業は、「1人でも多くの人の健康にお役にたきたい」という大きな夢にむかって日々仕事に取り組んでおります。全世界の皆様が安心してご愛用していただける商品をご紹介・ご提供することを使命としております。

そこで、安心してご愛用いただける商品とは何でしょうか？

当社は、その答えをエビデンス取得と考えております。当社の「はなびらたけ」商品は、ヒト臨床試験により、Ⅱ型糖尿病、アレルギー性疾患及び肝機能や美容(肌)への有用性が科学的に確認されています。まさに全世界の皆様が安心してご提供できる商品と考えております。

最近では、海外や大手小売店からの引き合いも増え、販売経路も広がっています。

さらに産学官共同研究を進めており、この成果によっては大きなビジネスチャンスを得ることができると考えております。

今後も、確かなエビデンスがあることを誇りに思い、事業を展開していく所存でございます。



ヘルスケア
事業本部長

内藤 敏裕

連結財務諸表の要旨

連結貸借対照表の概要

	(単位：千円)	
	当期 2015年9月30日現在	前期 2014年9月30日現在
資産の部		
流動資産	1,926,195	2,180,368
固定資産	401,056	567,730
有形固定資産	65,243	154,924
無形固定資産	30,063	76,850
投資その他の資産	305,748	335,955
資産合計	2,327,251	2,748,099
負債の部		
流動負債	411,144	418,210
固定負債	159,193	229,706
負債合計	570,337	647,916
純資産の部		
株主資本	1,728,264	2,080,932
その他の包括利益累計額	28,650	19,250
純資産合計	1,756,914	2,100,182
負債純資産合計	2,327,251	2,748,099

当期の財政状態

資産、負債及び純資産の状況

当連結会計年度末の総資産額(負債及び純資産の合計額)は、前連結会計年度末に比べ420百万円減少し、2,327百万円となりました。自己資本比率は75.5%、当座比率(当座資産÷流動負債、短期的安全性の指標)は410.3%であり、安定性の高い財務体質となっています。

資産の状況

総資産合計2,327百万円のうち、現金及び預金と有価証券(MMF等)の合計1,436百万円が61.7%を占め、高い手元流動性を維持しています。その他は受取手形及び売掛金250百万円(構成比10.8%)、棚卸資産(商品及び製品、仕掛品、原材料及び貯蔵品)156百万円(構成比6.7%)、投資有価証券174百万円(構成比7.5%)等です。

連結損益計算書の概要

	(単位：千円)	
	当期 2014年10月1日から 2015年9月30日まで	前期 2013年10月1日から 2014年9月30日まで
売上高	2,459,788	2,463,538
売上原価	1,584,813	1,659,129
売上総利益	874,975	804,408
販売費及び一般管理費	1,040,353	912,036
営業損失(△)	△ 165,378	△ 107,627
営業外収益	8,353	14,902
営業外費用	7,456	10,599
経常損失(△)	△ 164,480	△ 103,324
特別利益	46	21,255
特別損失	153,580	3,845
税金等調整前当期純損失(△)	△ 318,015	△ 85,913
法人税等	13,096	33,845
当期純損失(△)	△ 331,111	△ 119,759

負債、純資産の状況

負債合計570百万円のうち、借入金(短期借入金、1年内返済予定の長期借入金、長期借入金の合計)が341百万円を占めています。その他は買掛金87百万円等です。純資産合計1,756百万円の内訳は、資本金1,478百万円、資本剰余金794百万円、利益剰余金△449百万円、自己株式△95百万円等となっています。

キャッシュ・フローの状況

当連結会計年度における現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度に比べ164百万円減少し、1,436百万円となりました。営業活動によるキャッシュ・フローは、23百万円の純収入(前連結会計年度は179百万円の純支出)、投資活動によるキャッシュ・フローは、63百万円の純支出(前連結会計年度は47百万円の純支出)、財務活動によるキャッシュ・フローは、124百万円の純支出(前連結会計年度は187百万円の純支出)となりました。

会社情報／株式情報

株式の状況(2015年9月30日現在)

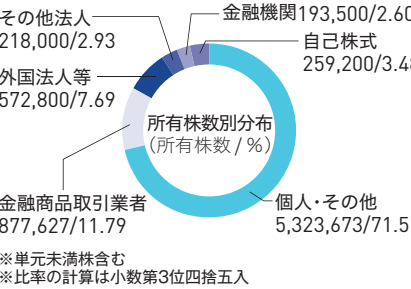
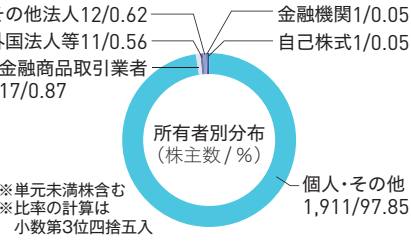
発行可能株式総数 26,712,000株
発行済株式総数 7,444,800株
1単元の株式の数 100株
株主数 1,953名
※単元未満株含む

大株主

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
西本一也	1,346,400	18.09
尾崎孝博	829,100	11.14
カブドットコム証券株式会社	643,700	8.65
ゴールドマンサックスインターナショナル	563,500	7.57
株式会社インタートレード(自株)	259,200	3.48
日本証券金融株式会社	193,500	2.60
赤木屋ホールディングス株式会社	170,000	2.28
西本かな	125,500	1.69
田中真弘	125,000	1.68
高木康秀	120,000	1.61

※比率の計算は小数第3位四捨五入

株式分布状況(2015年9月30日現在)



会社の概況(2015年9月30日現在)

商号	株式会社インタートレード
設立	1999年1月25日
本社所在地	〒104-0033 東京都中央区新川一丁目17番21号 茅場町ファーストビル3階
資本金	14億7,843万円
従業員数	111名
主な事業	金融ソリューション事業 ・証券ディーリングシステムの提供 ・外国為替証拠金取引システムの提供 ・取引所外取引システムの提供 ビジネスソリューション事業 ・経営統合管理ソリューションの提供 ・PC運用管理ツールの提供 ・システムエンジニア派遣／ビジネスサポートの提供 ヘルスケア事業 ・健康食品及び化粧品等の企画、販売 ・機能性キノコ「ハナビラタケ」の生産

役員紹介(2015年12月18日現在)

代表取締役社長	尾崎孝博
取締役副社長	西本一也
取締役	阿久津智巳 (社外) 安田幸一
常勤監査役	川瀬宏史
監査役	東原豊 野本彰

株主メモ

事業年度	10月1日から翌年9月30日
期末配当金 受領株主確定日	9月30日
定時株主総会	毎年12月
株主名簿管理人 特別口座の 口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社 口座管理機関
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 Tel:0120-232-711 (通話料無料)
上場証券取引所	東京証券取引所 市場第二部
公告の方法	電子公告により行う 公告掲載URL http://www.itrade.co.jp/ir/announcement ただし、電子公告によることができない事故、その他やむを得ない理由が生じたときには、日本経済新聞に公告いたします。

〈ご注意〉

- 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

…………… 株主様ご優待のご案内 ……………

当社では、皆様の日頃のご厚情に感謝するとともに、一人でも多くの株主様に商品をご体験いただき、当社のファンになっていたきたいとの思いから、株主優待を導入いたしました。

毎年3月末および9月末現在100株以上保有の株主様を対象として、当社子会社が運営している通販サイト **Beauty Glucan** において販売商品（トライアル品等、一部適用除外品あり）を株主

様特別価格にてご提供いたします。

Beauty Glucanでは、「大人のきれい」を身体の内外からサポートするためのサプリメントや化粧品など、「はなびらたけ」を主原料とした各種エイジングケア商品をご提供しています。

当社のこだわりが詰まった各種商品を、ぜひこの機会にお試しください。

■対象商品

通販サイト **Beauty Glucan** における販売商品
（トライアル品等、一部適用除外有り）



■優待特典

	継続保有期間3年未満	継続保有期間3年以上
1,000株未満	20%割引	20%割引及び ポイント5%付与
1,000株以上	30%割引	30%割引及び ポイント5%付与

※通常のポイント付与率は1%

■対象となる株主様

3月末および9月末現在100株以上保有の株主様が対象になります。

■ご利用方法および贈呈期間

●ご利用方法

株主会員登録を行っていただく必要がございます。
登録方法等の詳細については対象の株主様に郵送でご案内いたします。

●贈呈期間

	案内状送付時期	優待対象時期
3月末時点の株主様	6月	同年7月～12月
9月末時点の株主様	12月	翌年1月～6月

ご利用にあたっての注意事項

- ※株主会員登録は株主ご本人様のお名前にてご登録ください。
- ※優待特典は通販サイト **Beauty Glucan** に限り有効です。
- ※株主様の当社株式保有状況は株主番号で管理しております。
- 所有株式を全て売却された場合や証券会社の貸株サービスをご利用される場合は、株主番号が変わり継続性が途切れる場合がございます。